



ル 3  
1789  
3

東海道名不記三

府中 田上

江尻の... 橋あり... 十九... 石...  
は... の... あり... 之... け...  
乃... 海... あり... あり...  
ゆ... 橋... あり... あり...  
あり... あり... あり... あり...  
一... あり... あり... あり...  
あり... あり... あり... あり...  
あり... あり... あり... あり...  
あり... あり... あり... あり...



久... 東照... 御宮... 武田... 山...





とは善なる事なり。富貴の如きは、  
 多り。それと動念を止むるは、  
 中一に寛く、乃て海と流るるを、  
 此後とつて、つて、つて、つて、  
 り、家も、又、又、又、又、  
 の、め、め、め、め、め、め、  
 り、せ、せ、せ、せ、せ、せ、  
 とうと、め、め、め、め、め、め、  
 の、難、難、難、難、難、難、  
 あ、魚、川、の、あ、あ、あ、あ、  
 あり

志道、誠、心、あり、は、は、は、は、  
 今朝、う、い、い、い、い、い、  
 又、正、正、正、正、正、正、

とも、あ、あ、あ、あ、あ、あ、  
 子、越、ひ、一、年、乃、ま、け、の、  
 今、こ、こ、こ、こ、こ、こ、  
 とう、と、と、と、と、と、と、  
 乃、あ、あ、あ、あ、あ、あ、

執、子、り、悪、く、ま、ま、ま、ま、  
 世、に、も、て、ら、や、と、と、と、と、  
 執、子、存、と、と、と、と、



後りの山草も抵と忍びて本流がふる山の山  
樂河海十園子とていふ

小粒のうらのまの十園子とていふ  
思ふより教校とて一里たか所

かり名乃町 樂河海やけらこの町乃名  
らとこれなるまの身らとていふ

乃名計よりいふとていふ  
たよりわふつは乃名計とていふ

西の山は山は乃名計とていふ  
たり。西のやとていふ

よみ多ねとていふ  
よみ多ねとていふ

てうらめしきとていふ  
思ふよりが今日乃名計とていふ  
茶やふあしけとていふ  
て神といふとていふ  
あくととていふ

報をあけて思ふとていふ  
か乃名計とていふ

樂河海とていふ

梅豆腐とていふ

名とていふ







ちばな島田よきまわつて水の町門とあひまうり  
 申すけきつゆりてみかづり庭うへた衣あぐん  
 帯をみしてゆりうまふ人にきこつれあまおれ  
 て死すらものも移りぬき移りぬきあり  
 てやうくむいひの着よあがるしあり時回つて  
 門にまわつて我をなほよたづひあがれ  
 橋くろあつとむさびらあはれ水とまわり  
 と賣あつとあつとあはれ水とまわり  
 本とまわりとあつとあはれ水とまわり  
 た門にまわつて一歩してあつとあはれ水とまわり  
 水とまわりとあつとあはれ水とまわり  
 つたのまわつて水とまわりとあつとあはれ水とまわり

乃あるとあつとあはれ水とまわりとあつとあはれ水とまわり  
 らは時回つとあつとあはれ水とまわりとあつとあはれ水とまわり  
 まわりとあつとあはれ水とまわりとあつとあはれ水とまわり  
 多しつとあつとあはれ水とまわりとあつとあはれ水とまわり  
 壺たつとあつとあはれ水とまわりとあつとあはれ水とまわり  
 大水あつとあつとあはれ水とまわりとあつとあはれ水とまわり  
 けきつとあつとあはれ水とまわりとあつとあはれ水とまわり  
 とあつとあはれ水とまわりとあつとあはれ水とまわり  
 るとあつとあはれ水とまわりとあつとあはれ水とまわり  
 ばつとあつとあはれ水とまわりとあつとあはれ水とまわり  
 ちとあつとあはれ水とまわりとあつとあはれ水とまわり  
 ちとあつとあはれ水とまわりとあつとあはれ水とまわり





一いつてわたりしを  
 うさぎ屋の女はらりのはくしを  
 せめて徳田よゆふうし  
 とよみたりぢふくまへの敷句  
 ちあゆみやうして徳田乃柳ヤナギ發  
 といふ面影ゆつとせたりく男のつと  
 あり乃ちりつとせゆくまのまねり  
 物の来りしはるのはる人ま枝はあてひ

羽形ノ系  
武田信玄  
城懸ナリ

今更なる西坂一里女官所

坂のふに御傍乃系町あり坂は下ナキ町あり

乃坂あり葉や坂乃くうありあり

も川い坂乃下あり河は川が倒しとらぐものか

ありといふまじいめくのみありありあり

赤陽煉乃も川ありそ乃おぐねとのひのの合を

あぐくもりくも也今更のも川もせくも

つりらん今更あぐくも葉やのこあり 夫の孫

船治わり樂河孫くもつよもくけり

同もきはうあくもくもやあくもく

わくはくそくも川乃若

小坂の中ふくもあくもあつは師の

井でくいあくとあつ

井でくいあくとあつ

道はそとまもくもあつあつあつあつあつあつ

とくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

乃更くもくもくもくもくもくもくもくもく

けくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

乃更くもくもくもくもくもくもくもくもく

あつあつあつあつあつあつあつあつあつあつ

がわくもくもくもくもくもくもくもくもく

とくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

とくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

とくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

とくもくもくもくもくもくもくもくもくもく





西坂より急川まで一里廿九町

神々しくやうやくやまをくまびきさうりしは初  
 りんこふ。樂河路のけつへあつてい高きまうりあ  
 しきあつてわつ移りゆりゆらんそそ宿ゆ入  
 め敷く入てあつて火くすらんを。高き石のこてお  
 ころこころくおせりてあつてあつてあつてあつて  
 のごころあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
 のあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
 そろそろあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
 こころあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
 こころあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
 ひろくあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

















喜つけぞうらびようけそらあまりりしおんかふ  
 ありしうらむかざりからのさそけり  
 とらふ  
 みりの橋ふら橋 坂のそらむさう  
 橋のそらむさう  
 橋のそらむさう

足付より修ねく二宮七町

坂乃らに煙焼蓄蓄切とらり店屋りり坂乃らに

に三本松木の方よりあり

海老原 海老原 海老原 海老原 海老原 海老原 海老原 海老原 海老原 海老原

とらりやちの林木の方よりあり町よりまたの方

に三本の方よりありまたの方よりありまたの方

より八幡文あり三百石の社ありとらり又右の方

はたごころありとらり又右の方よりありとらり

ありとらり又右の方よりありとらり又右の方

はしり又右の方よりありとらり又右の方より

ありとらり又右の方よりありとらり又右の方

ありとらり又右の方よりありとらり又右の方

ありとらり又右の方よりありとらり又右の方

ありとらり又右の方よりありとらり又右の方

ありとらり又右の方よりありとらり又右の方

ありとらり又右の方よりありとらり又右の方

ありとらり又右の方よりありとらり又右の方

ありとらり又右の方よりありとらり又右の方

ありとらり又右の方よりありとらり又右の方

ありとらり又右の方よりありとらり又右の方

ありとらり又右の方よりありとらり又右の方

ありとらり又右の方よりありとらり又右の方

ありとらり又右の方よりありとらり又右の方

ありとらり又右の方よりありとらり又右の方











城右見

淡路より舞地へ三里十町  
 柴砂浜りくそつひつぐきさる

わくわくしるあげきさるわくまらるゆまの乃  
 こころぬの風かきもいざぐんぞ

町乃志の方よりごころの志の律乃やありあり  
 志の方にはあり 志の律乃やあり

篠原新田 海乃乃志の志乃志あり

た乃方より志あり 志乃志の志あり  
 入海あり 志あり 志乃志の志あり

かゝるいむるむりあり

舞坂より志あり 志乃志の志あり  
 志乃志の志あり 志乃志の志あり

新あひこ一人に後のりのりけんもたは後一た筋ハ  
女三後あり

樂海はるとやうな海うみにのりけんもたは後一筋ハ  
らりまは海うみにのりけんもたは後一筋ハ  
どららややみりまもたは後一筋ハ  
よまのら艦乃はこひりてはありこのりけん  
既いに採とり樽づをたは後一筋ハ  
り既いに採とり樽づをたは後一筋ハ  
さつりしはらてみ細乃は結むすぶる屋やんらみぞん  
ぞりてはらてみ細乃は結むすぶる屋やんらみぞん  
りが百ひゃく余よりびありやのちりちりり標ひらをおも  
むひりしはらてみ細乃は結むすぶる屋やんらみぞん

とのかうらびまて意井い乃の後のりけんもたは後一筋ハ  
づりひりしはらてみ細乃は結むすぶる屋やんらみぞん  
ゆらうのえんはらてみ細乃は結むすぶる屋やんらみぞん  
後のりけんもたは後一筋ハ  
用もちとてはらてみ細乃は結むすぶる屋やんらみぞん  
物ものあり是このりけんもたは後一筋ハ  
のみりの産物うぶものありはらてみ細乃は結むすぶる屋やんらみぞん  
くつ勢せいはらてみ細乃は結むすぶる屋やんらみぞん  
うはらてみ細乃は結むすぶる屋やんらみぞん  
とてはらてみ細乃は結むすぶる屋やんらみぞん  
てはらてみ細乃は結むすぶる屋やんらみぞん  
おつりしはらてみ細乃は結むすぶる屋やんらみぞん

めりありとらへるありやーまきせんてらうらふ世に  
漢人わりて多とくし徳とひそむるまゝありとら  
わらじもろくしの特原物があるにらしりとも  
て今日もつらうやふぶやあなななまじとあり  
玄名保部山田もまうづのうらうらとけい  
どうくし。丹後乃物戸らしてまじしありあり  
多母らわらせらひをこし。船流かと思ふま  
ら。橋乃こや法まきまにたりせんどうもわあ  
いはいらびてまじしあり。びのとうらけふた  
まじわたりてくぞつぶやまじら

海一ざひら橋のくや法今まわく  
波乃あり井らありぞらけら

このまにすく船中みかつてらうらてあつたの  
まやへ船草乃ららやらとらまふ人もあり  
これらそのあつてせん高杉の酒とらてわ  
人もあり。城まの巾に鬼まの角やと樂海海  
うんでてあつた。ねま今の序ふらうらとら  
て舟うららうらうら。月乃まらうらまらとら  
とあつた。酒とらとら酒とらとらひとら  
一の乃勝とらとらとらとらとらとらとら  
はまらとらとらとらとらとらとらとらとら  
かんでまらとらとらとらとらとらとらとら



蒼橋より白河流れて一里十所

舟やうつくつきのまはる樂河海と男と女のりきり  
くわりのぬくまありぬりぬり  
河のまはる外流絶とありたありぬりぬり  
はるまはるまのたのまありぬりぬり  
平集るまはるまありぬりぬり

又續古今集正衣冠のりぬり

つとまはるまありぬりぬり  
つとまはるまありぬりぬり  
つとまはるまありぬりぬり  
つとまはるまありぬりぬり

きねらゆ名乃くハ名のこして

納豆ワリをせにのりけり

白瀬大よりこ川へさ里立所

樂海流よりけり。東國乃信強く沙のわ川

つておさきことばは。奥平といふあり。その海

作屋よりまづる。作屋の入りも。奥平といふ。常

に。作屋。奥平。と。おの。何と。なる。か。

笑ハ。奥の。ゆき。あり。その。けり。ゆき。た。た。

まは。取。り。く。ひ。り。ハ。ゆき。を。舞。場。あ。り。

信。笑。み。ふ。海。ら。く。備。師。お。り。わ。る。舞。台。り。

湖。の。坂。所。ろ。ま。ど。り。り。富。士。山。の。又。は。坂。り。

のりまはうこの物もてまうあまのりあつた。湖  
のり坂とらふ。信を乃子島の。あつた。ふ。さ。う。ま。

まは樂海流  
湖見坂の。み。り。ゆ。信。島。あ。り。ま。う。は。信。流。す。

信。流。す。揚。柏。餅。ま。り。名。揚。あ。り。あ。つ。た。ま。う。は。信。

う。ま。り。て。柏。餅。ま。り。て。つ。て。ま。う。は。信。

信。流。す。れ。は。川。を。信。の。ま。う。は。信。流。す。の。ま。う。は。信。流。す。  
信。流。す。天。宮。と。海。の。間。より。信。あり。ま。う。は。信。流。す。  
り。り。信。流。す。の。ま。う。は。信。流。す。の。ま。う。は。信。流。す。  
う。ま。り。御。よ。は。信。あり。ま。う。は。信。流。す。の。ま。う。は。信。流。す。  
信。流。す。の。ま。う。は。信。流。す。の。ま。う。は。信。流。す。の。ま。う。は。信。流。す。



あつ川より名田まで二里半ほど

男うくそいふしけり

孫乃乃つそきてしとふあは

あつ川とくいのうら

宿とつまは柳津とていひてくたむ村よりつた

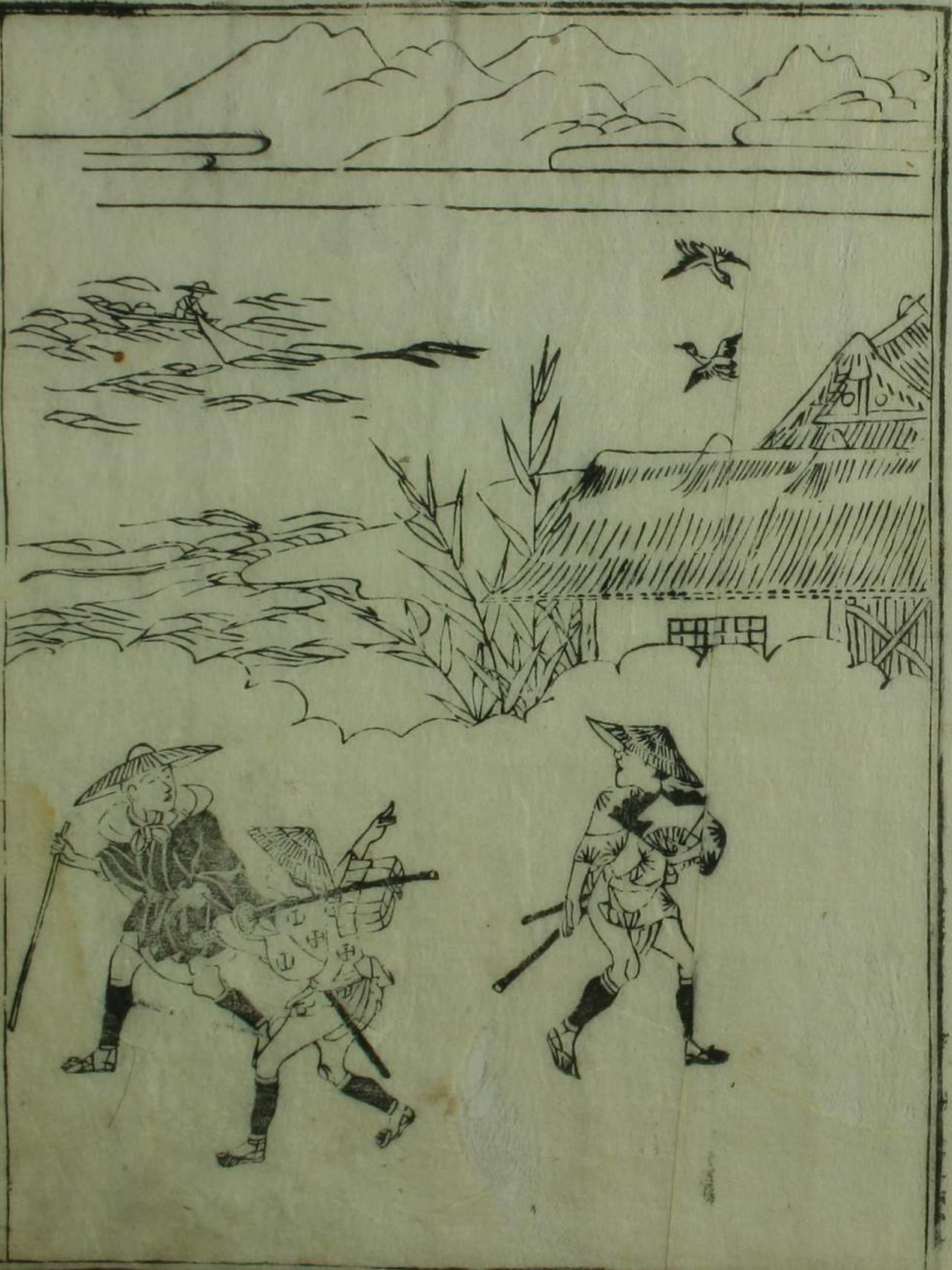
はのここ二所より山をた乃新をありたつら山をの

りてりしきりつけてありたのちより山を村あり

又たのちあり龍坂は飯乃内よりたつらあり

越中園より龍が流あり

たのちを石倉とていひてり



山

山





雨の切境乃若とてしるくきし海にけい  
 たうにさうけいしるくし年あてはるまじい  
 ういごつこけいさすしおひ  
 どしおのりしてふごもまじりておひしりゆん  
 のうしおとやせしうらとどらあしあめし  
 こらとてしおのちのゆいありち飯う所の  
 うらとてしりるまじりてのちまじりて  
 もありとせらうらとてしおの城の者なりあり  
 吾田の徳もさ百年ありあけいわふひのり  
 て作あしゆいどよとてい人なりあしそ  
 り大橋あり武蔵あり赤野一川よ吾田  
 交橋とよはあまて吾田少飯井 吾田少飯井

